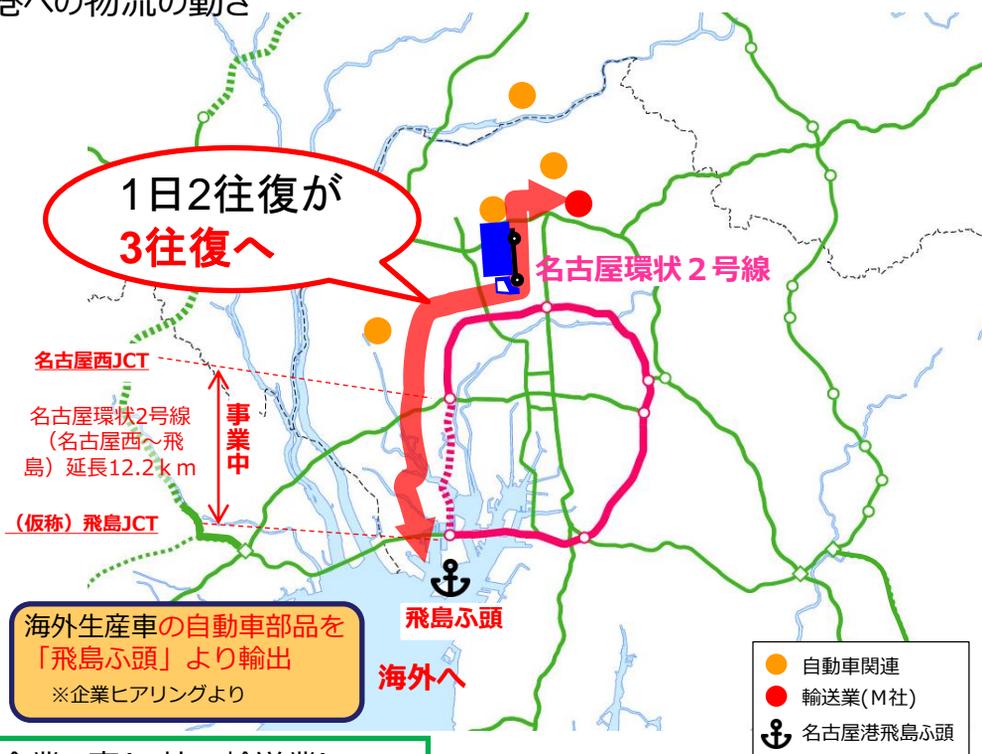


名古屋港への物流の効率化・産業の活性化

- 名古屋港飛島ふ頭地区のコンテナターミナルの整備により、海外向け自動車部品等のコンテナ貨物取扱量は約20年で約3倍に増加しています。
- 名古屋環状2号線の整備により、飛島ふ頭への物流の回数を1日2往復から3往復に高めるなど、物流の効率化が期待されています。

■名古屋港への物流の動き



企業の声(M社：輸送業)

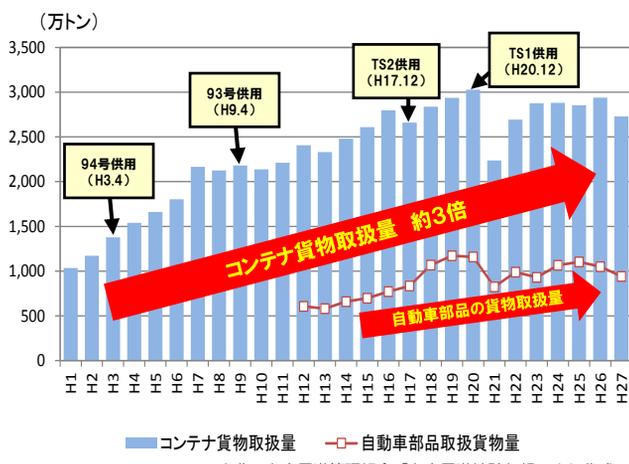
名古屋港を中心に運輸・倉庫業を行うM社は、飛島ふ頭と小牧市の物流センター間で、1日当たり80～100便のコンテナ等を運送。運輸業界のトラックドライバー不足を補うため、物流の効率化を検討している。名古屋環状2号線の整備により、所要時間の短縮が図られ1日の回数が2回から3回に高められる。



※企業ヒアリングより



● 飛島ふ頭地区のコンテナ貨物取扱量の推移



出典：名古屋港管理組合「名古屋港統計年報」より作成

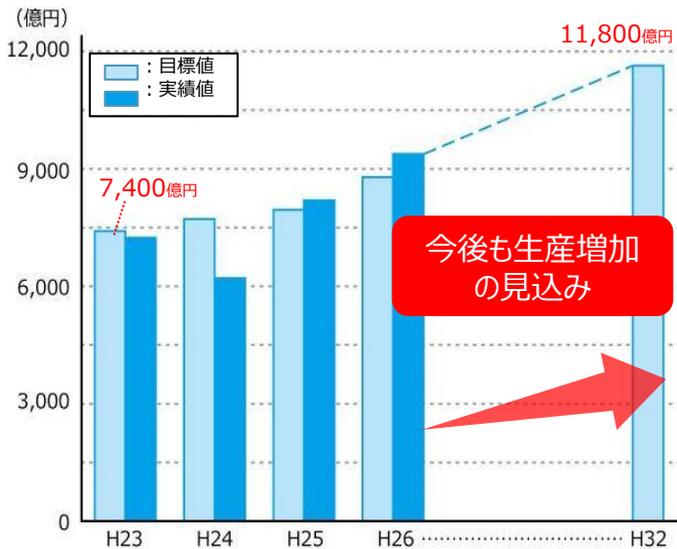
名古屋港への物流の効率化・産業の活性化

- ボーイング製旅客機の将来の増産・新規製造、国産旅客機MRJの開発により、航空機産業の物流量が増加予定。
- 臨海部と内陸部の工場間の部品輸送の定時性・速達性が確保され、航空機産業の活性化を支援。

■ 航空機産業関連部品等の動き



● 中部地域における航空宇宙産業の生産高



※：アジアNo.1航空宇宙クラスター形成特区パンフレットより  
 (アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区推進協議会,2017.3)

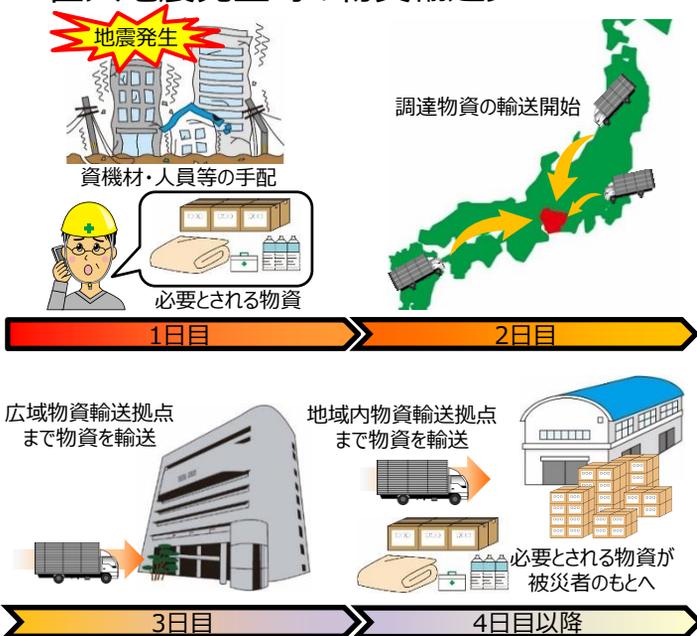
災害に強い道路ネットワークの形成

- 南海トラフ巨大地震発生時には、全国から愛知県の広域物資輸送拠点に物資が輸送された後、地域内物資輸送拠点への輸送には、名古屋環状2号線が活用されます。
- 高架構造の名古屋環状2号線が整備されることにより、浸水が想定される海拔ゼロメートル地帯において緊急輸送道路の機能が確保されます。

■ 巨大地震発生時の物資輸送ルート



■ 巨大地震発生時の物資輸送フロー



■ 浸水時の名古屋環状2号線（イメージ）

